

## 平成 29 年度 事業総括報告書

### 事業

1. いしなぐ福祉会事業について
2. そよ風の家事業について
3. そよ風の家（短期入所）事業について
4. いしなぐ（多機能型事業所）事業について
5. ピーターパン事業について

### 事業の総括（概要）

#### 1. いしなぐ福祉会の事業について

##### 事業項目

- |   |
|---|
| 1.事業の目的 2.法人の事業 3.事業経営の基本理念<br>4.本年度事業の基本方針 5.組織図 6.役員及び評議員の定数<br>7.職員定数 8.理事会及び定時評議員会の開催<br>9.監査の実施 10.本年度の重点事項 11.事業経営の財資源に関する事項<br>12.業務分掌 |
|---|

##### 事業実施等の概要

上記、いしなぐ福祉会の事業項目全般において、特に支障なく実施することができた。

法人の事業として、そよ風の家、そよ風の家（短期入所）、いしなぐ（多機能型事業所）、ピーターパンの各事業の運営や財政面において特に支障なく事業が実施された。又、利用者の支援に関しても支援計画等に基づき実施され活動できたものと思慮致します。

重点事項に掲げた財政状況の安定化については、利用者の増減も特になく、予算の範囲で運営することができた。又、事業所の公共性としての役割や人的・物的機能においても一定の地域貢献がなされたものと考えています。

そよ風の家とそよ風の家短期入所事業については、利用者のニーズと目的に沿った成果を得ることができたと考えています。

本年度もインフルエンザが発症し、多くの利用者が静養することとなった。対策を一考し、支援の充実と健康管理を図っていきたい。

#### 2. そよ風の家事業について

##### 事業項目

1.基本方針 2.事業運営の重点事項 3.ゆとりある暮らし 4.プライバシーの保護 5.健康管理 6.食事サービス 7.安全管理 8.日課表 9.年間行事予定

### 事業実施の概要

現在（平成29年度）、グループホーム「そよ風の家」入居者人数女子10人、男子4人、計14人が利用。日中は、全員「いしなぐ」を利用し、生産活動、生活支援、健康管理等のサービスを受けながら充実した活動を行うことができたと考えています。

法人所有のグループホームの開設から4年が経過。現在、女子10人と男子4人の利用者が生活を行っている。ホームでの生活にも慣れ、生活のリズムもある程度確立されてきていると考えています。

生活は、楽しく、ゆとりある生活を基本に生活全般を支援するうえで情緒面等や利用者同士のへの配慮が常に必要とされる。又、世話人・生活支援員、夜間支援従事者、父母、事業所、医療機関との連携が常に必要であり、年間をとおして健康管理に配慮しながら日常生活の支援を行なっている。

健康面においては、事業所での定期検診や定期受診等の支援をうけ、日常的に健康管理に配慮し、安定した生活が送られているものと思います。

休日等の活動では、地域行事への参観や買い物、育成会活動への参加、カラオケなどを楽しみながら休日を過ごしている状況にあります。

危機管理においては、職員、事業所、父母などとの連携を図り、実施されているものと思慮する。

## 3.そよ風の家（短期入所）事業について

### 事業項目

1.基本方針 2.事業運営の重点事項 3.事業内容 (1)住環境の提供 (2)食事管理 (3)健康管理 (4)服薬管理指導 (5)夜間の相談支援 (6)緊急時の対応(7)利用者の定員 4.支援職員体制 5.日課表 6.年間行事予定

### 事業実施の概要

短期入所事業については、グループホームと同様、比較的ニーズが高く、利用頻度も高まっている状況にあり、今後も目的に沿って有効に活用されることと思います。

事業計画については、項目に沿ってサービスを提供し、これまで利用された方々には、事業に対する一定の評価を頂けたものと考えています。

支援体制については、同性介護を基本とし、利用者の皆さんには特に支障なくニーズに沿った利用がなされているものと考えています。

危機管理面においては、職員、事業所、父母などとの連携を図り、実施されているものと思慮する。

行政からの意向として、緊急一時利用（避難）の期待の声も上げられた。

#### 4. いしなぐ（多機能型事業所）事業について

##### 事業項目

##### 1. 事業の目的

1. 事業の目的

##### 2. 職員に関する事項

1 職員定数

職員の支援体制の連携強化に関する事項

1. 支援体制に関する事項

職員の資質向上に関する事項

1. 施設長関係研修 2. 職員、利用者支援関係研修  
3. 事務等関係研修、他

会議等に関する事項

1. 職員会議（毎月） 2. 支援会議（毎月） 3. ケース会議（毎月）  
4. 各事業別事業計画 5. 個別支援計画、6. 個別支援記録  
7. モニタリング 8. 各班の支援計画、9. 個別支援計画の検討、反省

##### 3. 利用者の支援に関する事項

① 理念に関する事項 ② 個別支援計画に関する事項 ③ 雇用システム、人間関係、社会の仕組みに関する事項 ④ 職場実習に関する事項  
⑤ 防災・交通安全関係 ⑥ 重度利用者に対する支援 ⑦ 地域行事に関する事項 ⑧ 自立生活訓練・学習に関する事項

##### 4. 多機能型事業の内容

1. 生活介護

2. 就労継続支援B型

① 公園班（公園等管理作業）、② 園芸班（園芸作業） ③ 工芸班

(木工作业、さをり織り作業)

### 事業実施の概要

29年度の年間事業計画に基づき、上記、各項目の事業内容に支障はなく活動を実施することができた。

利用者支援に関する事項では、担当職員が個別支援計画案を作成し、各班の職員、更に全職員で検討を行ない、サービス管理責任者の修正、承認を得て作成されます。個別支援計画を全職員で共有し、その個別支援計画の内容について、年度はじめの三者面談（利用者、父母・家族、担当職員）において検討・修正を加え、支援サービス内容の共通理解を得て、短期、長期の目標を掲げ、日常の支援活動と上半期、下半期のモニタリングを行い、目標達成に向けての支援に努めた。また、支援過程においては、状況の変化に応じて父母との連携を随時行い、支援内容の充実・向上に努めたものと評価する。今後も父母等との連携を密にし、利用者へのサービスや支援の充実と強化に努めていきたい。

生産活動に関する事項については、全体の生産活動の結果、予定した収支目標を上回り、達成することができた。工賃、賞与の支給にも支障なく予定どおり支給することができた。

就労継続支援B型事業の公園班、園芸班の外勤作業は、名護市から委託されたものであり責任を伴う作業である。作業内容は、主に除草作業やトイレ清掃、ゴミ拾いでハードな面もあり、特に夏場には体力的な疲労もあり利用者のペースに配慮しながら取り組むことができた。また、職員の頑張りも評価したい。

さをり織り作業、木工作业も製品の完成度が高く、充実した内容の製品作りに努め、売上の向上を図ることができた。また、定期的活動されているさをり織りのボランティアの皆さんには忘年会において、利用者からは反物、父母会からはお礼の記念品が贈呈された。今後も継続して応援をお願いしたいと考えています。

生活介護事業においては、レク活動や歩行・機能訓練、読み聞かせ、創作的活動等（調理実習、買い物指導等）や、さをり織り作業への参加などの諸活動を行うとともに、ゆるやかな日課で、医師、看護師による健康管理にも配慮しつつ充実した活動ができたと考えています。

## 5.ピーターパン事業について

### 事業項目

1.事業の目的 2.支援方針 3.利用日時 4.日中一時支援サービスの内容  
5.月別行事計画

### 事業実施の概要

事業開始から10年。現在（29年度）の利用登録者数17人、職員体制3人（常勤2人）。

活動内容においては、学習指導、おやつ作り、屋外活動、送迎サービス、誕生会等を行い、利用者のニーズに沿って活動するとともに、安全管理、健康管理等については、家庭との連携を行い、利用者への支援とサービスを提供することができ、経営、運営面においても、利用人数の変動もなく運営できた。

障害児（者）をとりまく地域環境において、一定のニーズの基に貢献できたことと思います。

今後も対象者の皆さんに有効利用して頂く為に、事業の啓発を図るとともに、家庭、学校、地域と情報を共有し、個々の自立に役立てる支援体制とサービスの充実を図っていきたい。

平成30年6月28日（月）  
社会福祉法人いしなぐ福祉会  
理事長 島袋紀男